



将来のことを考える

今日は3年生がセンター試験の自己採点をする…というか、もう自己採点していると思うが、それを集計して、今後の出願に向けて準備をする日である。さて、3年生諸君の結果やいかに…。

*

ところで、昨年末から始めた3回目の面談も半分くらい進んだ。今回は、後期中間考査の結果を踏まえながら、単位修得が危ぶまれる諸君には、その警告を発したり、その科目の学習状況（対策具合？）を聞いたりしているが、そうでない（一般の？(笑)）諸君については、今後のことを聞くことが中心である。というのも、前回の模試では志望校を書く欄があったし、先週の学級タイムでは進路適性検査「R-CAP」を実施したし、センター試験と合わせてチャレンジ・センターに多くの人が挑戦したし…と、いろいろ将来と関係する出来事が続くので、そんなことと関連づけながら、一度将来のことをキチンと考えてみようというのが、年明けの1学年進路部の目標だからである。

しかし、面談をしてみると、「将来こういう職業につきたい」とか「こんな感じの仕事をしてみたい」といった具体的な方向性が見えている人はほとんどいなくて、面談した人の2割くらい。今までの学習を通して、「自分は文系（理系）のような気がします」といった方向性を臆気ながら感じている人が残りの半分くらいで、あとの半分の方は、まだ自分が文系なのか理系なのかも決しかねているといったところが現状である。

2月の最初には、R-CAPの結果を返却できると思うので、そういう資料を参考にしたりして、もう一度真剣に自分の将来（どんな人生を送りたいのか、どんな勉強をしてどんな方面の仕事をしてみたいのか、など）と向き合ってみることが必要だろう。

保護者の方に相談してみてもいいし、周囲の友だちも同じ結果を持っているのだから、ちょっと話題にしてみてもどうだろうか。自分一人で考えていた時とは違う発想や将来への考え方を知ることが出来て参考になるかも知れないし、人の意見を聞くことで、逆に自分のやりたいことがより一層確信されたりする場合だってあるに違いない。また、友だちからどう見られているのかを知ること、例えば「君の授業でのプレゼンとはとても面白いから、研究者になって研究成果を発表するとイイんじゃないの」とか、「イイ加減なことをしない君のその性格は、法律家向き」とか、「星陵祭準備のスケジュールをすごくうまく調整していたから、大きなプロジェクトのプロジェクトマネージャーみたいなものがあってもいいかもね」とかいった何気ない会話がヒントになることだってあるだろう。

*

来年の今ごろは、ある程度将来が見通せているのが望ましい。そう簡単に決められない進路だからこそ、何か機会があるごとにちょっとずつ考えたり調べたりして、視野を広げていくことが大切だ。自己責任の最たるものである進路、しっかり考えよう。